



2024年11月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月9日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高宮 満
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務担当 (氏名) 富田 たくみ TEL 03-3486-3331
 定時株主総会開催予定日 2025年2月27日 配当支払開始予定日 2025年2月7日
 有価証券報告書提出予定日 2025年2月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期の連結業績（2023年12月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期	483,985	6.4	34,329	74.3	36,874	80.0	21,419	62.6
2023年11月期	455,086	5.8	19,694	△22.6	20,490	△24.8	13,174	△17.8

(注) 包括利益 2024年11月期 30,933百万円 (28.9%) 2023年11月期 23,989百万円 (△26.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年11月期	154.10	—	7.3	8.3	7.1
2023年11月期	94.78	—	4.8	4.9	4.3

(参考) 持分法投資損益 2024年11月期 1,371百万円 2023年11月期 △343百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期	462,372	331,638	65.4	2,174.74
2023年11月期	426,006	311,303	66.2	2,027.90

(参考) 自己資本 2024年11月期 302,292百万円 2023年11月期 281,884百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年11月期	63,126	△23,893	△21,126	80,512
2023年11月期	23,725	△17,721	△9,514	62,433

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年11月期	—	23.00	—	27.00	50.00	6,950	52.8	2.5
2024年11月期	—	23.00	—	31.00	54.00	7,506	35.0	2.6
2025年11月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00		30.5	

(注) 2024年11月期の期末配当金額は予定であり、2025年1月20日開催の取締役会で決定します。

2025年11月期(予想)の年間配当金額には、キューピー マヨネーズ発売100周年記念配当10円を含んでいます。

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	505,000	4.3	34,500	0.5	36,600	△0.7	29,200	36.3	210.07

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年11月期	141,500,000 株	2023年11月期	141,500,000 株
2024年11月期	2,498,321 株	2023年11月期	2,496,958 株
2024年11月期	139,002,362 株	2023年11月期	139,003,504 株

(参考) 個別業績の概要

2024年11月期の個別業績 (2023年12月1日~2024年11月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期	205,599	6.6	9,166	200.5	18,330	93.0	13,380	36.9
2023年11月期	192,867	4.8	3,050	△67.1	9,496	△37.2	9,776	△22.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期	96.26	—
2023年11月期	70.33	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期	282,839	171,445	60.6	1,233.40
2023年11月期	257,028	163,565	63.6	1,176.71

(参考) 自己資本 2024年11月期 171,445百万円 2023年11月期 163,565百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況 ②今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当	5
(4) 中長期的な会社の経営戦略および対処すべき課題	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表および主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書および連結包括利益計算書	9
(連結損益計算書)	9
(連結包括利益計算書)	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等の注記)	15
(1株当たり情報)	20
(追加情報)	20
(重要な後発事象)	20
4. その他	21
役員の異動	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度における当社グループの経営環境は、インバウンド消費の増加や鶏卵相場の落ち着きなどにより、緩やかな回復基調にありました。一方で、不安定な国際情勢による景気減速リスクに加え、原材料およびエネルギー価格の高止まりや物流コスト・人件費の上昇、為替の動向など先行き不透明な状況が続きました。このような環境において、海外への資源投下を進め、中国・東南アジア・北米を中心に、KEWPIEブランドの認知拡大を加速させてきました。国内では引き続きお客様の多様化するニーズに対応するとともに、収益性・生産性の向上にも取り組みました。また、持続的な成長を実現するために、未来に向けた投資を拡大しました。

当連結会計年度の売上高は、海外の持続的な成長に加え、国内の基幹商品を中心とした調味料・惣菜の販売回復および価格改定による単価上昇などにより増収となりました。営業利益は、タマゴ商品の販売増加および主原料高騰影響の緩和、海外での成長に伴う利益拡大などにより増益となりました。経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の増加により増益となりました。

当連結会計年度の連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)	増減 (金額)	増減 (比率)
売上高	455,086	483,985	28,899	6.4%
営業利益	19,694	34,329	14,635	74.3%
経常利益	20,490	36,874	16,384	80.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,174	21,419	8,245	62.6%

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	177,395	186,747	9,352	5.3%
業務用	165,336	170,086	4,750	2.9%
海外	78,277	92,199	13,922	17.8%
フルーツ ソリューション	16,953	17,001	48	0.3%
ファインケミカル	11,170	11,382	212	1.9%
共通	5,953	6,568	615	10.3%
合計	455,086	483,985	28,899	6.4%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	9,939	14,277	4,338	43.6%
業務用	4,135	11,951	7,816	189.0%
海外	10,308	14,366	4,058	39.4%
フルーツ ソリューション	320	197	△123	△38.4%
ファインケミカル	1,040	572	△468	△45.0%
共通	1,209	1,352	143	11.8%
全社費用	△7,259	△8,388	△1,129	—
合計	19,694	34,329	14,635	74.3%

＜市販用＞

- ・調味料の価格改定による単価上昇や惣菜の販売回復などにより増収
- ・主原料高騰影響の緩和により増益

＜業務用＞

- ・調味料およびタマゴ商品の付加価値化による販売増加により増収
- ・主原料高騰影響の緩和や販売増加により増益

＜海外＞

- ・中国・東南アジア・北米が堅調に推移し増収
- ・中国の新型コロナウイルス感染症影響が前年度から回復したことや北米のブランド品拡大により増益

＜フルーツ ソリューション＞

- ・家庭用ジャム・スプレッドが好調に推移したものの、原材料等の高騰影響を受け増収減益

＜ファインケミカル＞

- ・原料販売の販売増加があったものの、通信販売のコスト増加により増収減益

＜共通＞

- ・食品メーカー向け製造機械の販売増加により増収増益

②今後の見通し

(単位：百万円)

	2024年度11月期	2025年度11月期 見通し	増減（金額）	増減（比率）
売上高	483,985	505,000	21,015	4.3%
営業利益	34,329	34,500	171	0.5%
経常利益	36,874	36,600	△274	△0.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,419	29,200	7,781	36.3%

当社グループは、人が生きていく上で欠かすことのできない食の分野を受け持つ企業グループとして「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって、世界の食と健康に貢献することをめざし、長期ビジョン「キユーピーグループ 2030ビジョン」を掲げています。

2025年11月期から4年間を対象とする中期経営計画では、「～Change&Challenge～ 成熟市場での経営効率化と成長領域への投資加速」をテーマとし、「国内事業の構造改革」と「グローバル展開の加速」とともに「食と健康への貢献」「環境への配慮」「人的資本の価値拡大」を推進することで、社会価値と経済価値を創出し、世界のお客様に貢献していきます。

2025年11月期は、高病原性鳥インフルエンザや物価上昇、為替の動向など、引き続き不透明な経営環境が見込まれます。このような環境において、海外への資源投下を進め、キユーピー マヨネーズ発売100周年を契機にブランドプロモーションを展開し、成長を加速させていきます。国内では、付加価値化や新領域の育成など価値創造プロセスの進化とともに、事業の構造改革に取り組んでいきます。

なお、2025年11月期の連結業績予想の詳細については、「2024年11月期 決算補足説明資料」に記載しています。

(2) 当期の財政状態の概況

①財政状態の状況

◇ 総資産、負債および純資産の状況

- ・総資産は、4,623億72百万円と前期末比363億66百万円増加

主に現金及び預金の増加115億29百万円、受取手形及び売掛金の増加72億67百万円、有価証券の増加80億円、建設仮勘定の増加71億73百万円、退職給付に係る資産の増加89億54百万円によるものです。

- ・負債は、1,307億34百万円と前期末比160億32百万円増加

主に支払手形及び買掛金の増加113億63百万円、短期借入金の減少149億29百万円、未払金の増加76億41百万円、未払法人税等の増加30億95百万円、長期借入金の増加47億16百万円、繰延税金負債の増加27億66百万円によるものです。

- ・純資産は、3,316億38百万円と前期末比203億35百万円増加

主に利益剰余金の増加144億69百万円、退職給付に係る調整累計額の増加51億97百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,725	63,126	39,401
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,721	△23,893	△6,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,514	△21,126	△11,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	607	△27	△634
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,902	18,079	20,981
現金及び現金同等物の期首残高	65,335	62,433	△2,902
現金及び現金同等物の期末残高	62,433	80,512	18,079

・現金及び現金同等物の残高は、805億12百万円と前期末比180億79百万円増加

各キャッシュ・フローの状況は、下記のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が336億38百万円、減価償却費が175億36百万円、仕入債務の増加が114億87百万円、売上債権の増加が74億16百万円となったことなどから631億26百万円の収入（前期は237億25百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が181億24百万円、定期預金の預入による支出が112億31百万円となったことなどから238億93百万円の支出（前期は177億21百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済が152億85百万円、配当金の支払いが69億50百万円となったことなどから211億26百万円の支出（前期は95億14百万円の支出）となりました。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は、下記のとおりです。

	2020年 11月期	2021年 11月期	2022年 11月期	2023年 11月期	2024年 11月期
自己資本比率（％）	52.8	64.5	66.4	66.2	65.4
時価ベースの自己資本比率（％）	68.5	84.2	84.3	84.2	103.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	2.3	1.1	1.2	1.4	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	103.7	159.0	110.6	61.1	202.5

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しています。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としています。

※キャッシュ・フローおよび利払いは、それぞれ連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を使用しています。

※2021年11月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年11月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

（3）利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社では、配当金を最優先とした株主還元を行うことを基本に、中期経営計画ごとに設定する方針に基づいた株主還元を行っています。安定した配当の継続をめざすとともに、株価動向や財務状況などを考慮しながら、機動的な自己株式の取得・消却を検討しています。

内部留保金は、財務体質の強化を図りながら将来の事業展開に備えるため、その充実にも努め、中長期的な視野に立ち、国内の効率化、海外への成長投資を中心に設備投資や、DX、新規開発投資を推進します。配当金は、会社法第459条第1項および第454条第5項の規定に基づき、取締役会の決議によって中間と期末の年2回、剰余金の配当を行うことができる旨を定款に定めています。

2024年までの中期経営計画の配当金の決定に際しては、1株当たり年間配当金45円以上を前提に、連結配当性向35%以上を基準とするとともに、4年間累計の総還元性向で50%以上を目安としています。

2024年11月期の配当金は、1株当たり年間54円（中間配当金23円、期末配当金31円、連結配当性向35.0%）となる予定です。

なお、2025-2028年度 中期経営計画における株主還元の考え方は、1株当たり年間配当金54円を下限とし、段階的に引き上げるとともに、4年間累計の総還元性向で50%以上を目安とします。

2025年11月期の配当金は、1株当たり中間配当金32円（キユーピー マヨネーズ発売100周年記念配当5円含む）、期末配当金32円（同記念配当5円含む）、年間配当金64円（同記念配当10円含む）、連結配当性向30.5%を予想しています。

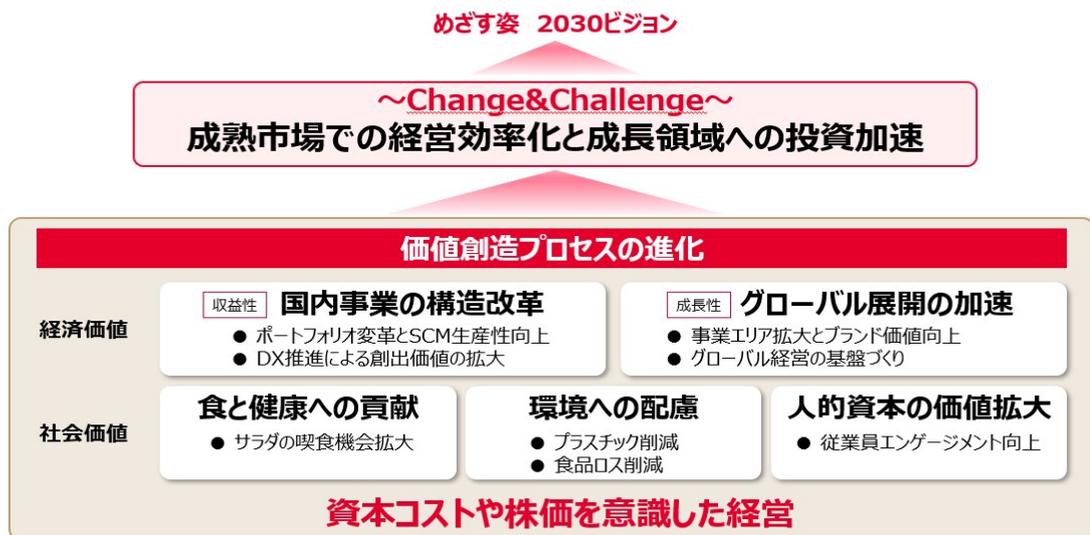
なお、当社は連結配当規制適用会社です。

（4）中長期的な会社の経営戦略および対処すべき課題

[中期経営計画]

当社グループは、人が生きていく上で欠かすことのできない食の分野を受け持つ企業グループとして、「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって、世界の食と健康に貢献することをめざし、長期ビジョン「キユーピーグループ 2030ビジョン」を掲げています。

2025-2028年度 中期経営計画では、「～Change&Challenge～ 成熟市場での経営効率化と成長領域への投資加速」をテーマに取り組みます。「国内事業の構造改革」と「グローバル展開の加速」とともに、「食と健康への貢献」「環境への配慮」「人的資本の価値拡大」を推進することで、社会価値と経済価値を創出し、世界のお客様に貢献していきます。



[2025-2028年度 中期経営計画の指標]

2025-2028年度 中期経営計画では、経済価値として「ROE」「国内事業利益率」「海外売上CAGR」を指標とし、資本効率を重視しながら国内・海外ともに稼ぐ力を高めていきます。社会価値については「サラダ喫食数」「プラスチック削減」「食品ロス削減」「従業員エンゲージメント」を経営数値目標として取り組んでいきます。



[2025-2028年度 中期経営計画 キャッシュアロケーション]

キャッシュアロケーションについては、4年間の累積営業キャッシュ・フローを約1,700億円とし、加えて資産売却や資金調達も行い、これを原資として積極的な投資を行います。設備投資は約1,000億円を計画しています。また、株主還元については、配当金54円を下限とし、段階的に引き上げ、4年間累計総還元性向50%以上を基準とします。さらなる成長投資とともに資本効率向上に向けた機動的な自己株式取得など株主還元を強化していきます。



2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間および経年での比較可能性を確保するため、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（第7章および第8章を除く）」（1976年大蔵省令第28号）に基づいて連結財務諸表を作成しています。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表および主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当連結会計年度 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,610	78,139
受取手形及び売掛金	64,515	71,782
有価証券	2,000	10,000
商品及び製品	27,939	25,172
仕掛品	2,064	1,948
原材料及び貯蔵品	13,990	12,741
その他	5,329	4,529
貸倒引当金	△370	△588
流動資産合計	182,080	203,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	159,074	159,972
減価償却累計額	△97,560	△100,477
建物及び構築物（純額）	61,514	59,494
機械装置及び運搬具	152,809	153,476
減価償却累計額	△111,556	△114,753
機械装置及び運搬具（純額）	41,252	38,722
土地	30,762	29,475
リース資産	5,817	5,655
減価償却累計額	△2,253	△2,258
リース資産（純額）	3,564	3,396
建設仮勘定	7,093	14,266
その他	13,256	13,555
減価償却累計額	△11,244	△11,513
その他（純額）	2,011	2,042
有形固定資産合計	146,199	147,398
無形固定資産		
のれん	182	—
ソフトウェア	13,768	13,686
その他	1,856	5,316
無形固定資産合計	15,807	19,003
投資その他の資産		
投資有価証券	48,975	51,178
長期貸付金	595	136
退職給付に係る資産	25,630	34,584
繰延税金資産	2,308	2,011
その他	4,499	4,422
貸倒引当金	△91	△90
投資その他の資産合計	81,918	92,243
固定資産合計	243,926	258,645
資産合計	426,006	462,372

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当連結会計年度 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,414	44,777
短期借入金	17,200	2,271
未払金	17,577	25,218
未払費用	2,291	2,013
未払法人税等	2,330	5,425
賞与引当金	1,650	1,883
役員賞与引当金	71	121
その他	6,835	9,529
流動負債合計	81,372	91,239
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	784	5,500
リース債務	3,807	3,785
繰延税金負債	12,766	15,532
退職給付に係る負債	2,107	2,004
資産除去債務	275	273
その他	3,588	2,398
固定負債合計	33,330	39,494
負債合計	114,702	130,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	28,638	28,412
利益剰余金	209,740	224,209
自己株式	△5,842	△5,847
株主資本合計	256,639	270,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,939	13,501
繰延ヘッジ損益	△2	△9
為替換算調整勘定	7,037	6,454
退職給付に係る調整累計額	6,269	11,466
その他の包括利益累計額合計	25,244	31,413
非支配株主持分	29,419	29,346
純資産合計	311,303	331,638
負債純資産合計	426,006	462,372

(2) 連結損益計算書および連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
売上高	455,086	483,985
売上原価	332,755	336,217
売上総利益	122,330	147,767
販売費及び一般管理費	102,636	113,437
営業利益	19,694	34,329
営業外収益		
受取利息	534	686
受取配当金	474	564
持分法による投資利益	—	1,371
保険戻戻金	434	11
その他	906	868
営業外収益合計	2,350	3,502
営業外費用		
支払利息	393	295
貸倒引当金繰入額	203	207
持分法による投資損失	343	—
その他	614	455
営業外費用合計	1,554	958
経常利益	20,490	36,874
特別利益		
関係会社株式売却益	2,968	145
抱合せ株式消滅差益	—	124
投資有価証券売却益	758	111
固定資産売却益	20	54
その他	432	17
特別利益合計	4,178	453
特別損失		
固定資産除却損	733	1,501
減損損失	1,484	948
投資有価証券評価損	4	815
その他	370	423
特別損失合計	2,593	3,689
税金等調整前当期純利益	22,075	33,638
法人税、住民税及び事業税	5,851	9,083
法人税等調整額	699	144
法人税等合計	6,550	9,228
当期純利益	15,524	24,410
非支配株主に帰属する当期純利益	2,350	2,990
親会社株主に帰属する当期純利益	13,174	21,419

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
当期純利益	15,524	24,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,483	1,444
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	1,364	△273
退職給付に係る調整額	4,272	5,128
持分法適用会社に対する持分相当額	345	224
その他の包括利益合計	8,465	6,522
包括利益	23,989	30,933
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	21,174	27,588
非支配株主に係る包括利益	2,814	3,344

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年12月1日 至 2023年11月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	24,104	28,634	203,515	△5,840	250,413
当期変動額					
剰余金の配当			△6,950		△6,950
親会社株主に帰属する当期純利益			13,174		13,174
自己株式の取得				△2	△2
連結子会社株式の取得による持分の増減					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		4			4
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	4	6,224	△2	6,226
当期末残高	24,104	28,638	209,740	△5,842	256,639

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,348	△1	5,911	1,985	17,244	26,965	294,623
当期変動額							
剰余金の配当							△6,950
親会社株主に帰属する当期純利益							13,174
自己株式の取得							△2
連結子会社株式の取得による持分の増減							－
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							4
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,591	△0	1,125	4,283	8,000	2,453	10,454
当期変動額合計	2,591	△0	1,125	4,283	8,000	2,453	16,680
当期末残高	11,939	△2	7,037	6,269	25,244	29,419	311,303

当連結会計年度（自 2023年12月1日 至 2024年11月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	24,104	28,638	209,740	△5,842	256,639
当期変動額					
剰余金の配当			△6,950		△6,950
親会社株主に帰属する当期純利益			21,419		21,419
自己株式の取得				△4	△4
連結子会社株式の取得による持分の増減		△230			△230
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		3			3
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△226	14,469	△4	14,238
当期末残高	24,104	28,412	224,209	△5,847	270,878

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	11,939	△2	7,037	6,269	25,244	29,419	311,303
当期変動額							
剰余金の配当							△6,950
親会社株主に帰属する当期純利益							21,419
自己株式の取得							△4
連結子会社株式の取得による持分の増減							△230
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							3
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,561	△7	△582	5,196	6,168	△72	6,095
当期変動額合計	1,561	△7	△582	5,196	6,168	△72	20,334
当期末残高	13,501	△9	6,454	11,466	31,413	29,346	331,638

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	22,075	33,638
減価償却費	16,935	17,536
減損損失	1,484	948
のれん償却額	182	182
退職給付費用	△150	823
持分法による投資損益 (△は益)	343	△1,371
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△124
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△977	△290
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△929	△2,557
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	129	213
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	220	216
受取利息及び受取配当金	△1,009	△1,251
支払利息	393	295
投資有価証券売却損益 (△は益)	△758	△107
関係会社株式売却損益 (△は益)	△2,968	△145
投資有価証券評価損益 (△は益)	4	815
固定資産除売却損益 (△は益)	713	1,439
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,775	△7,416
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,555	4,229
仕入債務の増減額 (△は減少)	162	11,487
未払金の増減額 (△は減少)	393	4,967
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,116	2,308
長期未払金の増減額 (△は減少)	338	△168
その他	723	1,353
小計	27,090	67,072
補償金の受取額	1,661	—
和解金の受取額	167	—
利息及び配当金の受取額	1,308	1,515
利息の支払額	△388	△311
法人税等の支払額	△7,121	△6,228
法人税等の還付額	1,007	1,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,725	63,126

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2022年12月1日 至 2023年11月30日）	当連結会計年度 （自 2023年12月1日 至 2024年11月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,164	△18,124
有形固定資産の売却による収入	94	1,436
無形固定資産の取得による支出	△2,281	△5,803
投資有価証券の取得による支出	△1,325	△169
投資有価証券の売却による収入	1,139	337
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	1,291
関係会社株式の売却による収入	3,440	—
短期貸付金の純増減額（△は増加）	△74	△26
長期貸付けによる支出	△44	△27
長期貸付金の回収による収入	1	20
定期預金の預入による支出	△5,567	△11,231
定期預金の払戻による収入	2,184	9,782
その他	△124	△1,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,721	△23,893
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,179	172
リース債務の返済による支出	△726	△738
長期借入れによる収入	—	5,000
長期借入金の返済による支出	△285	△15,285
非支配株主からの払込みによる収入	1,044	—
配当金の支払額	△6,950	△6,950
非支配株主への配当金の支払額	△1,411	△2,623
自己株式の取得による支出	△2	△4
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△594
その他	△2	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,514	△21,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	607	△27
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,902	18,079
現金及び現金同等物の期首残高	65,335	62,433
現金及び現金同等物の期末残高	62,433	80,512

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象として、市場別に「市販用」「業務用」「海外」「フルーツ ソリューション」「ファインケミカル」および「共通」として

います。

各事業の概要は下記のとおりです。

市販用

: 市販用市場において、マヨネーズ・ドレッシング類、パスタソース、サラダ、惣菜、パッケージサラダ、育児食、介護食などの商品を製造・販売しています。

業務用

: 業務用市場において、マヨネーズ・ドレッシング類、食酢、液卵、凍結卵、乾燥卵、卵加工食品などの商品を製造・販売しています。

海外

: 中国、東南アジア、北米などの海外市場において、マヨネーズ・ドレッシング類などの商品を製造・販売しています。

フルーツ ソリューション: 家庭用のジャム類や冷凍のフルーツ加工品、産業用のフルーツ加工品などの商品を製造・販売しています。

ファインケミカル

: 医薬品、化粧品、食品などの原料としてヒアルロン酸や卵黄レシチンなどの商品を製造・販売しています。

共通

: 食品や食品製造機械の販売などをおこなっています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部売上高および振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2022年12月1日 至 2023年11月30日）

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	連結財務 諸表 計上額 (注) 2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	177,395	165,336	78,277	16,953	11,170	5,953	455,086	—	455,086
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	177,395	165,336	78,277	16,953	11,170	5,953	455,086	—	455,086
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	887	4,708	1,297	294	381	11,374	18,944	△18,944	—
計	178,282	170,045	79,574	17,247	11,551	17,328	474,030	△18,944	455,086
セグメント利益	9,939	4,135	10,308	320	1,040	1,209	26,954	△7,259	19,694
セグメント資産	103,384	127,231	74,072	17,637	8,972	45,360	376,659	49,346	426,006
その他の項目									
減価償却費	4,976	6,449	2,864	895	495	911	16,592	342	16,935
持分法適用会社 への投資額	1,898	—	—	—	—	20,229	22,127	—	22,127
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	4,471	6,400	5,339	278	289	398	17,176	670	17,846

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益の調整額△7,259百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。
 - (2) セグメント資産の調整額49,346百万円には、主として、全社資産53,321百万円、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△2,407百万円が含まれています。全社資産の主なものは当社での余資運用資金（現金及び預金ならびに有価証券）、長期投資資金（投資有価証券）等です。
 - (3) 減価償却費の調整額342百万円は、主として、報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費です。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額670百万円は、主として、報告セグメントに配分前のグループ基幹システム投資額です。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。
3. 減価償却費および有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用が含まれています。

当連結会計年度（自 2023年12月1日 至 2024年11月30日）

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	連結財務 諸表 計上額 (注) 2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	186,747	170,086	92,199	17,001	11,382	6,568	483,985	—	483,985
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	186,747	170,086	92,199	17,001	11,382	6,568	483,985	—	483,985
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	815	4,319	—	313	386	11,199	17,034	△17,034	—
計	187,562	174,405	92,199	17,315	11,768	17,768	501,020	△17,034	483,985
セグメント利益	14,277	11,951	14,366	197	572	1,352	42,717	△8,388	34,329
セグメント資産	110,431	127,641	83,336	17,351	9,463	44,994	393,218	69,153	462,372
その他の項目									
減価償却費	5,371	6,422	3,201	863	447	892	17,200	336	17,536
持分法適用会社 への投資額	1,898	—	—	—	—	21,506	23,405	—	23,405
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	5,427	6,609	10,468	600	462	442	24,012	379	24,391

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- (1) セグメント利益の調整額△8,388百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。
 - (2) セグメント資産の調整額69,153百万円には、主として、全社資産73,949百万円、セグメント間の債権と債務の相殺消去額△2,983百万円が含まれています。全社資産の主なものは当社での余資運用資金（現金及び預金ならびに有価証券）、長期投資資金（投資有価証券）等です。
 - (3) 減価償却費の調整額336百万円は、主として、報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費です。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額379百万円は、主として、報告セグメントに配分前のグループ基幹システム投資額です。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。
 3. 減価償却費および有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用が含まれています。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年12月1日 至 2023年11月30日）

1. 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	東南アジア	北米	その他	合計
376,808	31,553	21,262	18,046	7,414	455,086

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	東南アジア	北米	その他	合計
125,006	9,906	5,664	4,610	1,011	146,199

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しています。

当連結会計年度（自 2023年12月1日 至 2024年11月30日）

1. 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	東南アジア	北米	その他	合計
391,785	36,008	25,884	20,822	9,484	483,985

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	東南アジア	北米	その他	合計
117,705	9,141	10,480	9,012	1,058	147,398

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しています。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年12月1日 至 2023年11月30日）

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額	合計額
減損損失	210	1,083	81	—	—	109	1,484	—	1,484

当連結会計年度（自 2023年12月1日 至 2024年11月30日）

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額	合計額
減損損失	—	467	—	—	—	480	948	—	948

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年12月1日 至 2023年11月30日）

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額	合計額
当期 償却額	—	—	—	182	—	—	182	—	182
当期末 残高	—	—	—	182	—	—	182	—	182

当連結会計年度（自 2023年12月1日 至 2024年11月30日）

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額	合計額
当期 償却額	—	—	—	182	—	—	182	—	182
当期末 残高	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年12月1日 至 2023年11月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年12月1日 至 2024年11月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
1株当たり純資産額(円)	2,027.90	2,174.74
1株当たり当期純利益(円)	94.78	154.10

- (注) 1. 「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当連結会計年度 (2024年11月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	311,303	331,638
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	29,419	29,346
(うち非支配株主持分(百万円))	(29,419)	(29,346)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	281,884	302,292
期末の普通株式の数(千株)	139,003	139,001

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)	当連結会計年度 (自 2023年12月1日 至 2024年11月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	13,174	21,419
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	13,174	21,419
普通株式の期中平均株式数(千株)	139,003	139,002

(追加情報)

固定資産の譲渡

当社は、2024年9月30日開催の取締役会において、下記のとおり保有する固定資産を譲渡することを決議し、2024年9月30日に不動産売買契約を締結しました。

1. 固定資産譲渡の理由

経営資源の有効活用および財務体質の強化を図るため、以下の固定資産を譲渡します。

2. 譲渡資産の内容

資産の名称および所在地	譲渡益	現況
内容 : 土地 41,407.24㎡ 所在地 : 愛知県豊田市日南町二丁目	約120億円(予定)	旧工場跡地

※譲渡価額および帳簿価額については、譲渡先との取り決めにより開示を控えます。

3. 譲渡先の概要

譲渡先は国内の事業会社ですが、譲渡先の意向により開示を控えます。なお、当社と譲渡先の間には、資本関係、人的関係および取引関係はなく、当社の関連当事者にも該当しません。

4. 譲渡の日程

取締役会決議日 2024年9月30日
契約締結日 2024年9月30日
物件引渡日 2025年1月23日(予定)

5. 今後の見通し

上記固定資産の譲渡に伴い、2025年11月期第1四半期決算において、固定資産売却益として特別利益に計上する見込みです。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動（2025年2月27日付）

取締役の異動

退任予定者

氏名	新役職名	旧役職名
濱千代 善規	—	取締役 上席執行役員 イノベーション担当

（ご参考）役位および職務分担の変更

2025年2月27日付で、役位および職務分担が次のとおり変更になる予定です。変更箇所は下線部分です。

氏名	新役職名	旧役職名
山本 信一郎	取締役 常務執行役員 コーポレート担当	取締役 <u>上席執行役員</u> コーポレート担当 兼 <u>経営推進本部長</u>
濱崎 伸也	取締役 常務執行役員 グループ営業担当 兼 市販用市場統括	取締役 <u>上席執行役員</u> グループ営業担当 兼 市販用市場統括